

令和3年度 江戸川区立小岩第四中学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

<p>学校教育目標</p> <p>明るく、心身ともに健やかなで、ひたむきな学びの意欲をもつ児童の育成</p> <p>・自主・自立学習、孝行、礼儀に励んで、責任感を持って行動する          ・自信・自覚、責任感、丁寧な態度からみられる人間としての内面の美しさ          ・明朗・明るい態度ですべての人の幸せをつくり出す          ・変化・思いやりをもってすべての人に優しく関わることができる</p>	<p>目指す学校像          目指す生徒像          目指す教師像</p>	<p>清く正しく、常に生徒の輝きが増える学校・安心・安全で、すべての生徒が生き生きと活動できる学校・生徒が学ぶ楽しさを味わい、生きる力を身に付けることができる学校</p> <p>生徒・保護者・地域に信頼され、共に学ぶ学校・伝統を重んじつつ、常に新しい挑戦を敢行し続ける学校・環境を醸成し、学校内外の取組に努める学校</p> <p>自ら進んで主体的に学習する生徒・自分の意見を自信をもって伝え、他人の意見を尊重し合うことができる生徒・思いやりをもって人間関係を築く生徒</p> <p>校則や生活指導指針(思いやり)のみ(身だしなみ)も(掃除)あ(あいさつ)(授業)を自ら実践する生徒・豊かな人間性と思いやりのある教師・主体的に、熱意をもって教育に真摯に向き合う教師・自己研鑽に励み、互いに高め合う教師・公務員としての自覚をもち、服務の厳正に努める教師</p>
--	---	--

<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p>&lt;成果&gt;図書館の整備。小中連携教育の充実。新聞の閲覧者増加。          &lt;課題&gt;新学習指導要領に沿った授業についての研修。ICTの有効的な活用。家庭学習の習慣化。不登校生徒対策。</p>
--------------------------	--

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施、改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・年3回の研究授業・授業参観週間や研究協議による授業改善 ・コロナ禍で小中連携ができず、連携教育プログラムは実施できない。	・授業が分かりやすい、楽しいと思う生徒の率が9割以上	B	B	授業力改善に向けての研修会を実施し、生徒から分かりやすい授業であり、丁寧な教えてくれている評価が9割以上となった。	A	・生徒が楽しくと感じられる授業をこれからも継続してください。 ・生徒の力で課題解決型の授業の展開と学力低下の生徒に対するの補教の充実をお願いしたい。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。	・校内研修や授業参観週間をさらに授業力向上研修とし、見る視点・評価する視点を明確にして、課題解決型の授業力向上を目指す。
			・読書を通じた探究的な学習の充実(読書ノート)の活用、資料の取集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをままと表現する	・図書館の活用及び読書科における成果物の作成	・読書科における成果物の作成および発表	B	C	図書室は整備を終え、活用しやすい環境を作ることができている。使用率や読書量を増やす必要がある。	B	・本に親しむ生徒が減少しているのが気になっています。全校で読書が習慣化する取り組みをお願いしたい。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。
体力の向上	・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・補助運動を毎授業で実施 ・食育、給食指導の充実	・体力が向上した生徒が9割 ・食育を通して食への理解を深めた生徒が9割	B	B	コロナ禍のため、部活動に制限がある中、工夫しながら体力向上への取組ができている。食への理解を高めている生徒は9割以上	B	・コロナ禍でも、工夫しながら取り組んでいきたいと思います。少しでも体力向上を計る。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。	コロナ禍でも、取り組める方法として、個人でも取り組める縄跳びなどを取り入れる。	
			・オリンピック・パラリンピックレジャー創造プランに基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	・オリンピアン卒業生を応援 ・国際理解教育の推進 ・講演や体験活動の実施 ・障がい者理解教育の推進	・オリンピック・パラリンピック教育で視野を広げることができた生徒が9割以上	A	A	コロナ禍の中ではあったが全校で、卒業生の池江選手のことについての道徳を取り入れたり、応援メッセージの作成などオリンピック・パラリンピックについて関心を高めることができた。	A	・池江選手についての道徳や応援メッセージの取り組みは生徒へのオリンピック・パラリンピック教育として、とても良かったと思いました。 ・オリパラに関しては、4年ごとの盛り上がりとなりますが、素晴らしい卒業生がいますので、今までも変わらぬ力を入れてほしいと思います。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。
外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	・「やり取り」力の向上のためのALT活用法の工夫	・コミュニケーション力が向上している生徒が8割以上	A	A	ALTの活用やACT機器を使用した授業展開により、興味関心・意欲が高まった。また導入に歌を取り入れ楽しく分かりやすい授業ができている。	A	・iPADでデジタル教科書の取り組みより、英語科教育では、感心が高まったと思います。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。	・ALTやICTを活用した、分かりやすい授業を継続する。	
健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	・家庭と連携し、ネット犯罪やネットいじめの防止を図る ・生活習慣のアンケートを年5回実施 ・チャイルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・ネット利用上のルール・マナーを守っている生徒が9割以上 ・生活習慣が整っている生徒が9割以上	A	A	家庭内ルールを守っている生徒や生活習慣を整えている生徒が9割いる。	A	・いじめのない学校の構築に教員、生徒が協力して取り組んでいると思います。生徒会が取り組んでいる「いじめ撲滅宣言」が意識向上につながっていると思います。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・時代によって変化する問題について改善策をさがし、実行してください。	生徒会が主体的に行っている、SNSルールを校内でさらに深め、モラル意識の向上を目指す。	
			・いじめや不登校の未然防止と早期対応に関する対応の充実	・いじめアンケートを年5回実施し、早期発見、早期解決を図る ・スクールカウンセラーや関連機関との連携	・いじめに取組むと評価する保護者、生徒が9割以上 ・相談活動に取り組みと評価する保護者、生徒が8割以上	A	A	いじめ防止に向けて取り組んでいると回答した生徒や保護者が9割以上。 生徒会が主体となって取り組んだ成果が現れている。	A	・iPADを利用したいじめなどが問題になっている現代、小岩四中ではないように対応をお願いします。またいじめ防止の取り組みを引き続きお願いします。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。
特別支援教育の推進	特別支援教育の充実	・校内外委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実	・特別支援委員会を月1回開催 ・校内伝達研修会を年2回開催 ・話し合いの中で、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個	・特別支援を必要とする生徒の不登校ゼロ	A	A	特別支援委員会を毎週開催し、特別支援を必要とする生徒の不登校はゼロではないが、減少してきている。	A	・個に応じた対応を引き続きお願いしたい。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください	委員会より提示された生徒の対応の仕方を共有すると共に、研修を深める。生徒の写真と一致させるように、年度当初に準備する。
			・すべての生徒が安心して過ごせる安全な学校をつくるため、規範意識を育み、いじめや暴力行為、体罰や不適切な言動を排除する。 ・生徒会による「いじめ撲滅宣言」	・家庭と連携し、ネット犯罪やネットいじめの防止を図る ・生活習慣のアンケートを年5回実施	・ネット利用上のルール・マナーを守っている生徒が9割以上 ・生活習慣が整っている生徒が9割以上	A	A	家庭内ルールを守っている生徒や生活習慣を整えている生徒が9割いる。	A	・いじめのない学校の構築に教員、生徒が協力して取り組んでいると思います。生徒会が取り組んでいる「いじめ撲滅宣言」が意識向上につながっていると思います。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。
教員の資質向上	教育相談の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	・ICTを活用した校内研修及び研究授業実施	・ICTを活用した学習で主体的に取り組めるようになった生徒が9割以上	A	A	ICTを活用した校内研究及び研究授業を実施。授業での効果的な活用法の改善により、生徒評価も9割となっている。	B	・メディアリテラシーや情報の選択について時代に合った内容に更新されることを期待します。 ・ICTを学力向上に役立ててほしい。 ・改善され成果が達成されていると思われます。	GIGAスクール構想に向けてさらに研修を深め活用していく。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。
			・校内外委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	・特別支援委員会を月1回開催 ・校内伝達研修会を年2回開催	・特別支援を必要とする生徒の不登校ゼロ	A	A	特別支援委員会を毎週開催し、特別支援を必要とする生徒の不登校はゼロではないが、減少してきている。	A	・個に応じた対応を引き続きお願いしたい。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。
特色ある教育の展開	主体的・対話的で深い学びの研修・実践	・思考力・判断力・表現力を育成する授業の実践 ・指導法や教材の工夫・改善を図り、基礎学力の定着を目指した授業の実践 ・iPADを使用した授業展開	・年3回の校内研究授業実施 ・年3回「教員同士の」授業参観週間実施 ・iPAD研修を年間3回実施	・年3回の校内研究授業実施 ・年3回「教員同士の」授業参観週間実施 ・iPAD研修を年間3回実施	B	B	コロナ禍ではあったが、iPAD生徒への配布により、工夫した授業展開を試みることができた。また、ライブ配信の授業も試すこともできた。	B	・コロナ禍でiPADを利用したリモート授業の展開に感謝します。今後もすべての授業がリモートになる可能性があるため、自宅においても生徒たちから分かりやすい授業の展開を先声方で研修を深めてほしいと思います。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。	今年度は、コロナ禍の中、対話的な授業展開があまりできず生徒の評価も肯定的評価が、85%であり、十分にできなかった結果となった。今後、コロナ禍で、対話の学びができないかわりに、GIGAスクール構想で1人1台のパソコンを活用した授業展開で、学び合いを強化する。
			・日本語学級設置校としての特色を生かし、日本語教育、英語教育、国際理解教育を充実させ、世界で活躍する人材の育成を目指す。 ・日本語の指導法についての研修を実施し、日本語や日本文化、教科の指導を継続的に行う。	・ルビ振り、電子辞書の活用等の合理的な配慮により外国につながる生徒の不登校出現率1% ・進路説明会、面談、在籍校訪問等による在籍校との連携	・合理的な配慮により外国につながる生徒の不登校出現率1% ・進路説明会、面談、在籍校訪問の実施	A	A	外国につながる生徒の不登校者は1%未満である。日本語指導員や日本語学級指導、進路指導など丁寧に行っている。	A	・オリンピックがあり、他国の歴史や言語など深まったと思います。 ・日本語学級を含め、外国の生徒の割合が多いので、大変だとは思いますが、丁寧な指導をお願いします。 ・区内に2校しかない設置校として素晴らしい実績があると思います。引き続きお願い致します。 ・改善され成果が達成されていると思われます。 ・持続し、目的達成のために実行し続けてください。